



水井 清光 議員

除染と仮置場の 現況と今後対応

問 仮置場を鹿島区一カ所、原町区一カ所としていたが現在どうなっているか伺う。

答 周辺住民との説明会の中で、高い線量の地域の物は高い地域の協力を得るべきではないかと指摘され、当初の仮置場は決まっていなかった。仮置場設置に向けて協力をお願いしていききたい。尚、特定避難勧奨地点8行政区のうち4行政区で仮置場が決定している。

問 一時集積所について、一時保管する場所、面積等は南相馬市が責任を持って対応すべきと考えるが。

答 仮置場の確保が進まないこと、各行政区長へのアンケートの回答から、一時集積所の設置は困難と、一時集積所の設置は進んでいない。今後については仮置場の確保を優先に

進め、一時集積所の設置に努めてまいります。

問 クリーン原町センターに於いて、旧警戒区域の一般廃棄物の受け入れを拒否しているがなぜか伺う。

答 旧警戒区域内の廃棄物処理は環境省が直接行うことになっていくこと、さらに旧警戒区域内の放射線量が一般的に高いという不安感から、クリーンセンター周辺行政区からの申し出により、受け入れを制限している。

問 旧警戒区域内の一



適正な処分、早くして下さい。困った、困った。

般廃棄物の放射線レベルはどの程度か。

答 現行制度の中では、クリーン原町センターで焼却できる基準となっている。各種データにより理解を得て参りたい。

質問を終えて
除染の遅れは仮置場の決定が見通せないから一時集積所も決まらない。決断と実行今なり

その他の質問

- ① 産業廃棄物処理施設と公害防止協定は
- ② 一般廃棄物処理計画を策定すべきでは
- ③ 地域防災計画の策定と防災会議の在り方は



今村 裕 議員

市民目線での 行政執行を求める

問 三月議会では警戒区域は解除しないと答弁していたにも拘らず議会にも説明が無く、市民の声も聞かずに解除に至った経緯について伺う。

答 事業再開を求める事業者や自由に入居りできるような希望する市民の声を受け、居住制限等を設けながらも国の方針を受け入れた。

問 帰りたくても帰れない。住みたくない。農業後継者もいないし再開時期も不明。仮に作っても売れない...等不安を抱えている方が少なからずいる。

答 今回の事故は人災なのだから、個々の事情を最大限考慮し、土地・建物を国や東電に買い上げて頂くという選択肢はないのか。



「決定してから説明会を開催しても…」

賠償を要求すると共に復興計画に基づき、生活再建や環境整備に努めていく。

問 市長は記者会見で市として賠償に取り組み必要があると発言したが、いつ着手するのか。

答 民間同志の賠償には、直接関与しないというのが市の基本スタンスだが、市が窓口となって弁護士につなげる体制を作っていく。

問 国や東電は、原発の再稼働を推進しながら、一方では廃炉まで30年かかると言う。

答 被災地の現状をみれば言語道断。今後明確なる収束ができるよう強く要請していく。

質問を終えて
どうも、市長の政治姿勢と市民の思いには、大きな隔りがあるように思えてならない。

その他の質問

- ① 復旧・復興に向けた今後の見通しは
- ② 原発事故の現状認識は
- ③ 関係自治体との情報交換、連携は

南相馬市復興の

あけぼのは!!



湊 清一 議員

仮の町構想の受け入れと協力の推進を!

問 本市は、第一原発から約30分の距離であり、双葉地方住民の方々には、近くの町に住むことで、いつでも帰れて、心の絆やストレス解消にもなる仮の町構想の受け入れ策を本市から手を差し伸ばして積極的に協力推進すべき。

答 また、5月初めに浪江町長が市長を訪問されているが、どのような話し合いだったのか、近隣町村長との進め方について伺う。

問 本市としては、仮の町構想の要請には宅地の確保や行政サービスの支援、コミュニティの確保等各町村の意向に応じ、国県と連携を図り努めます。また、浪江町長からは仮

設住宅等の申し入れを受けました。他町村の要請にも積極的に対応し、県副知事にもしっかりとした対応を要請したところです。

問 スイミングクラブやサンスを子どもたちに開放する施策を!!

答 本市の子どもたちがふるさとの学校に、皆で戻れる環境整備が最も重要です。市は早急に施設を取得し、子どもたちに遊

問 本市の子どもたちがふるさとの学校に、皆で戻れる環境整備が最も重要です。

答 市民の要望が大変多く、市は寄贈の取得も含め交渉継続中で、ルネサンスとの契約が3月末で、施設の点検修繕等時間を要している。民々の問題が未解決で譲渡交渉ができない等諸問題もあることをご理解下さい。



除染を終えた市民プールを見る

びの場を開放すべきと思うが、市長の考え方を伺う。

問 「がんばろう」から「あきらめない南相馬」に向けて、計画が3ヶ月も遅れている除染を早急に進めるべきである。その為に、原町区で当初候補地とした海岸部の市有地を、仮置き場とすべき時期だが市長の決断を伺う。

答 候補地とした市有地は、周辺の皆様の意見を聞いた中で、鹿島区は鹿島区の提案があった。原町区は線量の高い部分は理解を得られないが、線量の低い所は積極的に進める考えを保持しており、地域懇談の際にも十分理解されたと思っている。

問 西部の山際では、8行政区の内4行政区は決まっており、街場の住宅密集地の低い線量については、市有地

問 放射能汚染物の除染が進まない。単に移動置換の除染よりは、早く除去技術の開発を待つ。

その他の質問

- ① 相双地方の広域協力推進連携を積極的に
- ② 巨大津波に対し浜街道を多重防災整備に
- ③ 震災復興に向け積極的な企業誘致策を



小川 尚一 議員

あきらめない南相馬市を

問 「あきらめない南相馬」に向けて、計画が3ヶ月も遅れている除染を早急に進めるべきである。その為に、原町区で当初候補地とした海岸部の市有地を、仮置き場とすべき時期だが市長の決断を伺う。

答 候補地とした市有地は、周辺の皆様の意見を聞いた中で、鹿島区は鹿島区の提案があった。原町区は線量の高い部分は理解を得られないが、線量の低い所は積極的に進める考えを保持しており、地域懇談の際にも十分理解されたと思っている。

問 西部の山際では、8行政区の内4行政区は決まっており、街場の住宅密集地の低い線量については、市有地

に持っていくのか伺う。

問 線量の受け入れ範囲を確定し、しっかりと説明して進める。

問 太陽光発電についての、事業者と協定を締結することだが、スマートコミュニティーの取り組みを伺う。

答 環境未来都市構想の取り組みの一つで、災害復興住宅や防災集団移転住宅等のユニツ



期待されるメガソーラー太陽光発電

トモデルとして検討し、協議会を立ち上げる。

問 太陽光発電の普及をどう推進するか伺う。

答 県の基金配分が4億2千万円あり、市役所庁舎を含め6施設を計画。住宅用太陽光発電は、交付金の件数を昨年の33倍の100件に拡大し、民間事業所は、支援補助など活用促進を図る。

問 太陽光発電質問の2日後、東芝と100Mwソーラーの協定書締結。3万世帯をカバーする。

その他の質問

- ① 旧警戒区域瓦礫撤去を地元企業の活用で
- ② 民間主導の風力発電の支援は
- ③ 花と緑いっぱいのみちづくりは

あきらめない

南相馬市を